

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛 18 の数字参照。2015 は 2015 年度まで納入済み。

しのばず自然観察会より 2016-05 2016.06.05

2016年7月の活動 石神井公園の自然観察 (小雨実施)

と き：7月3日 (日)

集 合：午前10時 西武池袋線石神井公園駅中央口 (緑の小旗が目印)

持ち物 筆記用具、弁当、飲み物、雨具、敷物、あれば双眼鏡

参加費 200円

7月の観察会は、石神井公園を訪ねます。2013年4月の観察会で行ったときは霧雨の中、幻想的景色が見られました。三宝池の沼沢植物群落は天然記念物に指定されています。また、水鳥も見どころです。

帰りは三宝寺池バス停またはJA 東京あおばバス停よりそれぞれ大泉学園駅/阿佐ヶ谷駅方面、石神井公園駅/上井草駅・阿佐ヶ谷駅方面にバスがあります。徒歩で石神井公園駅へも戻れます。

会創立40周年 (41周年) 記念 不忍池水鳥絵ガイドの発行について

加藤千鶴子会員の水彩画による不忍池水鳥ガイドパンフレットは、印刷レイアウトの構想に手間取ってしまいましたが、4月の作業時に、加藤会員も参加して、印刷形態等を詰めました。近く、印刷屋さんで最終協議に入りたいと思います。



しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方

1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: www.ac.auone-net.jp/~sinobazu/

郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2015年以前の会費未納の方もお忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。

2016年4月の活動 東博の庭の観察より

4月の観察会は東京国立博物館の裏庭開放の最終日である17日に、同館の裏庭・表庭の見学を17名の参加で行いました。サクラの花の時期には遅れましたが、裏庭では、ニリンソウが咲き始めていました。ただ、往時に比べるととてもみじめな個体数です。一方、カントウタンポポは裏庭、表庭とも健在でした。1995年の平成館と文化財研究所新棟建設により、裏庭の江戸を伝える植物が失われましたが、スマレ、ツボスマレはわずかに生育していました。また、カラスノエンドウとスズメノエンドウが同じところに生えていて、大きさの比較ができました。

昨年同様、緑色の花と言われる御衣黄(ぎょいこう)を見ました。咲き終わりに近く、薄紅色に代わっている花が多かったです。

この日も折悪しく、昼から強風と横殴りの雨に見舞われ、予定していた谷中霊園のイチリンソウ見学はあきらめて、早々に谷中の作業所に逃げ込み。通信の発送作業と、不忍池水鳥絵ガイドパンフレットの相談をしました。また、タンポポ類の花粉の顕微鏡写真を確認しました。



ズメノエンドウ(小)とカラスノエンドウ(大)



ツボスマレ



スマレ



ニリンソウ

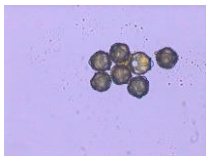


雑種タンポポ

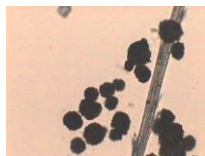


カントウタンポポ

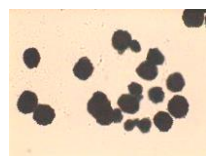
参考画像



カントウタンポポ



雑種タンポポ



純粋のセイヨウタンポポ

タンポポの花粉：雑種、純粋セイヨウの花粉は大小ありサイズが不ぞろい カントウの花粉は大きさがそろっている